

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 黒崎商会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

| 分類 | No. | チェック項目 | 基本 | チャレンジ | 具体的な取組み (※事業者が記載する欄) | 主なSDGs(17のゴールと169のターゲット) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----|--|----|-------|--|--------------------------|---|---|-------------------|-------------------|---|---|---------------------|-----|--------------|----|------|----|----|----|----|----------------------|----|
| | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | |
| 組織・公正な取引 | 1 | 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。 | ● | | 経営理念を事務所内に掲示したうえで、毎月各部長が課内の社員に経営理念の説明を行い、社員全員の理解を深めることで、共有化に取り組んでいる。 | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | | 17 | |
| | 2 | 【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している。 | ● | | 法令遵守の意識を浸透していくため、朝礼を利用して、その重要性を社員全員に周知し、コンプライアンスの徹底を行っている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 3 | 【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。 | ● | | 定期的に勉強会を実施し、会社として常に公正な取引に努める必要性や業務に関する法令、法律を学ぶことで、社員全員が不正競争行為に関与しない意識を醸成する。 | | | | | | | | | | 10 | | | | | | | 16 | |
| | 4 | 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。 | ● | | 企業活動で社会・環境に及ぼす影響については役員が責任者となり、社内の関係部署である総務部と連携して課題解決に取り組んでいる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 5 | 【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。 | ● | | ・会社が蓄積してきた知的財産については、社内で勉強会を実施し、社員全員が知的財産の価値を認識することで、保護を行っている。 ・社内の勉強会で具体的に取引先と取引を行う際に入手した製品や施工ノウハウ等の情報について、情報の取扱方法や情報漏洩のリスクを徹底的に学び、社員全員が知的財産の価値を認識し保護を実施している。 | | | | | | | | 8.2 8.3 | 9 | | | | | | | | 16 | |
| | 6 | 【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。 | ● | | 個人情報については、原則、専門部署のパソコン内に管理者しか知らないパスワードで保存している。なお、紙媒体の個人情報については、鍵のかかったキャビネットに保管している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 7 | 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体） | ● | | 顧客からの案件・クレームなどは、全社員に内容を回観し社内で協議を行った後、適切な対応を行っている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 8 | 【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。 | ● | | | | | | | 5 | | | 8 | | 10 | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | |
| | 9 | 【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。 | ● | | | | | | | | | | 9 | | 11 | | 13.1 | | | | | | 16 |
| | 10 | 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている | ● | | 毎月、代表及び役員と後継者を含め経営会議を実施し、今後検討している重要事項や重要事項に対する取組を共有し、後継者にも重要な事項に積極的に携わってもらうことで、経営者としての育成に取り組んでいる。 | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | | | 17 |
| | 11 | 【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。 | ● | | | 1 | 2 | | | 5 | | | 8 | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | |
| 労働・人権 | 12 | 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。 | ● | | 差別、人権侵害に関する勉強会を定期的に実施することに加え、相談窓口を設置している。社員が自由に意見を述べることができるよう、社内目安箱を設置している。 | | | | 4.3 4.4 4.5 | 5.1 5.2 5.5 | | | 8.5 8.7 8.8 | | 10.2 10.3 | | | | | | | 16.1 16.2 16.7 | |
| | 13 | 【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。 | ● | | ・毎朝社員全員でラジオ体操を実施している。 ・朝礼で事故の情報を共有し、事故防止に取り組んでいる。 | | 3 | | | | | | 8.8 | | | | | | | | | | |
| | 14 | 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。 | ● | | 法令やガイドライン等に沿って、全従業員に対して公正な待遇を行っている。 | | | | | 5.5 | | | 8.5 10.2 10.3 | | | | | | | | | | |
| | 15 | 【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。 | ● | | 働き方改革を踏まえ、有給休暇を連続して取得するよう促すことで、家庭と仕事の両立を図っている。 | | | 3 | | 5.5 | | | 8.5 8.8 | | 10.3 | | | | | | | | |
| | 16 | 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。 | ● | | 業務に関する資格取得費用全額を会社が負担している。 | | | | 4 | 5.5 | | | 8 | 9 | | | | | | | | | |
| | 17 | 【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。 | ● | | ・従業員の健康向上のため、毎朝朝礼前にラジオ体操を行っている。 ・一般健診の胃カメラの検査の費用は、会社側が、全額負担している。 | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | 17 | |
| | 18 | 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。 | ● | | 年齢、性別に関係なく能力に応じて昇進、昇格を適正に行っている。 | | | | 4.4 | 5.1 5.5 | | | 8.5 10.2 10.3 | | | | | | | | | 16.7 | |
| | 19 | 【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。 | ● | | 今まで必ず事務所に集まって会議を行っていたが、業務効率化に向けてリモート会議を導入しており、現場の従業員はZOOMを利用してその場から会議に参加している。 | | | 3 | | | | | 8 | 9.1 | | 11 | 12 | | | | | | |
| | 20 | 【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。 | ● | | 社有スマートフォンのLINEやZOOMを利用して、現場の従業員が事務所に寄ることなく、その場で業務に関する連絡、報告、相談などを行っている。 | | | | | | | | 8 | 9.1 | | 11 | 12 | | | | | | |

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 黒崎商会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

| 分類 | No. | チェック項目 | 基本 | チャレンジ | 具体的な取組み (※事業者が記載する欄) | 主なSDGs(17のゴールと169のターゲット) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|--|----|-------|--|--------------------------|-------|-------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|-------|-------|-------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|--------|--------|--------|--------|--|
| | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | |
| | 21 | 【プライ特企業】 ・プライ特企業に認定されている。 | | ● | | | | | 3 | 4 | | | | 8 | 9 | | | 12 | | | | | |
| 環境 | 22 | 【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。 | ● | | 法律等に基づき産廃物の分別を徹底し、外部の専門業者に委託することで産廃処理を行っている。 | | | 3.9 | | | | 6.3 | | | | | 11.6 | 12.4 | | 14.1 | 15.1 | | |
| | 23 | 【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。 | ● | | 電気使用量については、原油換算値簡易計算表により把握できている。昨年は40,000kwの電気を使用しており、1年間で2%削減に取り組む予定。具体的には、不要な照明の消灯、PC・コピー機の省電モード設定等により電力削減に取り組んでいる。 | | | | | | | 7.3 | | | | | | | 13 | | | | |
| | 24 | 【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。 | ● | | ガス排出量については、原油換算値簡易計算表により把握できている。昨年のガス排出量は、55tC/GJであり、1年間で1%削減に取り組む予定。具体的には、空調関係のフィルターの定期的清掃実施、エアコン温度27°Cでの設定等に取り組んでいる。 | | 2.4 | | | | 7.2 7.3 7.a | | | | | | 12.4 | 13 | 14 | 15 | | | |
| | 25 | 【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している。 | ● | | 全員が、自分のエコパックを使用し、商品購入時にレジ袋をもらわないことで、レジ袋削減に注力している。 | | | | | 6.6 | | | | | | | | | 14 | 15 | | | |
| | 26 | 【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。 | ● | | ・業務において再生紙、裏紙を使用している。 ・撤去品などでまだ利用できる品は、再利用している。 | | | | | | | | 9.4 | | | | 12.2 12.4 12.5 | | 14.1 | 15 | | | |
| | 27 | 【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。 | ● | | 毎月1回は、浄化槽の点検を実施し、汚水などの確認を行っている。確認時に浄化槽のメンテナンスが必要になった場合は、都度メンテナンスを行い、適切な状態を維持している。 | | 2.4 | | 6.1 6.3 6.4 6.6 | | | | | | 11.5 | | | 14.1 14.2 14.3 | 15 | | 17 | | |
| | 28 | 【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。 | ● | | コピーやFAXに使用する用紙は、普通紙から再生紙に切り替えを行っている。 | | | | | | | 9.4 | | | | 12.4 12.5 | 13 | 14 | 15 | | | | |
| | 29 | 【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。 | ● | | | 1 | 2 | | | | 6.4 | | | | | | 12.3 | | 14 | 15 | | 17 | |
| | 30 | 【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。 | ● | | 事務所内に観葉植物を置いていることに加え、事務所外にも植物を植えて保全、管理に取り組んでいる。 | | | | | | | | | | | 11.6 11.7 | | 13.1 13.3 | | 15 | | 17 | |
| | 31 | 【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。 | ● | | | | | | | 7.1 7.2 7.3 7.a | | 9.4 | | 11.5 | | | 13.1 13.3 | | | | | | |
| | 32 | 【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。 | ● | | | | | | | 6 | | | 9.4 | | 11.3 11.4 11.5 | 12.2 | 13 | | 15 | | | | |
| | 33 | 【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。 | ● | | | | | | 6.1 6.3 6.6 | | | | | | | 11.3 11.4 11.5 | 12.2 | 13 | | 15 | | | |
| | 34 | 【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。 | ● | | 社員全員が、マイボトルを持ち歩き、プラスチックのカップを減らすことに加え、マイ箸を持ち歩き、プラスチックのスプーンやフォークを減らして、社を挙げてプラスチックの使用削減に取り組んでいる。 | | | | | | | | | | 12.2 12.5 | | 14 | | | | | | |
| | 35 | 【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。 | ● | | | | | | | | 7.1 7.2 7.3 7.a | | 9.4 | | 11.2 | | 13.1 13.3 | | | | | | |
| | 36 | 【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。 | ● | | | | | | | | | | 9.4 | | 11.6 11.a | 12.8 | 13 | | | | | 17.17 | |

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 黒崎商会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

| 分類 | No. | チェック項目 | 基本 | チャレンジ | 具体的な取組み (※事業者が記載する欄) | 主なSDGs(17のゴールと169のターゲット) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-----|--|----|-------|---|--------------------------|------------|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|----|
| | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| 製品・サービス | 37 | 【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。 | ● | | 物件引き渡し前の社内検査を必ず実施する。また、サービスの安全性・品質を確保するために、顧客の意見を詳細にヒアリングしながら、社内で共有する仕組みを構築している。 | | | 3.9 | | | | | | 9 | | | 12.4 | | | | | | | |
| | 38 | 【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。 | ● | | 車いす使用や将来の介護に対応できるユニバーサルデザインを採用した水廻り製品や、サービスの提供を積極的に行っている。 | | | | | | | | | 9.1 | 10 | 11.7 | | | | | | 17 | | |
| | 39 | 【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。 | ● | | | | 2.3 2.4 | | | | | 7.3 | 8 | 9 | | 11.a | 12.3 | 13 | 14 | 15 | | | 17 | |
| | 40 | 【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。 | ● | | | | | | | | 7 | | | | | 12.2 | 13.1 | | 15 | | | | | |
| | 41 | 【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。 | ● | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| | 42 | 【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。 | ● | | | 2.3 2.4 | | | | | | | 8.2 | 9.2 9.4 | | 11.a | 12.2 | | 14 | 15 | | | 17 | |
| 持続可能な社会・地方創生 | 43 | 【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。 | ● | | 地域の清掃など会社としてボランティア活動を積極的に行っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| | 44 | 【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。 | ● | | ・定期的に避難訓練を行っている。 ・災害時の緊急連絡網を作成している。 ・従業員にハザードマップを周知している。 ・地域消防団員に1名在籍している。 | | | | 4 | | | | | | | 11.5 | | 13.1 | | | | 16 | | |
| | 45 | 【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。 | ● | | | 1.5 | | 3 | 4 | | | | | | | 10.2 | 11.5 | | 13.1 | | | | 16 | 17 |
| | 46 | 【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。 | ● | | | | | | | | | | | 9 | | 11 | 12 | 13.1 | | | | | | |
| | 47 | 【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。 | ● | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| | 48 | 【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場見学授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。 | ● | | 地元の中学校に対して、職場体験の受け入れを行っている。 | | | 4 | | | | | | 8.6 | | 10.2 | | | | | | | 17 | |
| | 49 | 【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。 | ● | | 熊本県UIJターンの企業登録を行い、県外在住者で弊社に興味がある人を紹介してもらい、採用面接を行っている。 | | | | 4.4 | | | | | 8.5 8.6 | | | | | | | | 17 | | |
| | 50 | 【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。 | ● | | | 2 | | 4.3 4.4 4.5 | | | | | | 8.6 | | 10.2 | | 12 | 13 | 14 | 15 | | 17 | |

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。